

全国消団連 2009年度の課題（概要）

2009.5.21

2009年度、全国消団連は、“消費者行政一元化”と「消費者庁創設」が実効あるものとして具体化されるための取り組みを中心に、食の安全や、社会保障、環境問題に“消費者の権利”の視点から積極的に取り組んでいきます。

同時に、私たちがめざす“消費者主役”の社会を支える自覚的な消費者を育て、増やしていくことも、全国消団連の重要な役割と考えます。

来るべき新しい社会にふさわしい消費者組織としての“ビジョン”を描き、全国各地で活動への参加を広げ、つなげていく取り組みをすすめます。

（1）消費者行政一元化と消費者行政の充実強化の取り組み

- * 消費者行政の充実強化の取り組みを最大の課題として、中央と地方で連携を取りながら積極的に取り組みます。
- * 9年目を迎える「都道府県消費者行政調査」は、「消費者行政一元化」と連動した調査項目を設定して取り組みます。
- * 「消費者基本法」に基づく新たな「消費者基本計画」策定や、運用状況に関するチェック等の取り組み、違法収益はく奪の制度づくり、消費者契約法やPL法の改正に向けた学習と検討をすすめます。
- * 「安全・安心で持続可能な未来」の実現に向けて、「円卓会議」に積極的に参画し、消費者組織としての発言力を高め、役割を果たしていきます。

（2）食の安全・食料需給問題の取り組み

- * 「消費者行政一元化」に伴い、食品安全行政のいっそうの充実強化がはかれるよう、学習と検討、情報発信の取り組みをすすめます。
- * 世界的な食料需給問題や日本の農業政策の見直し、また食品ロスの問題など、多方面から学習会をおこなうとともに、世界の状況やWTO交渉、FTA/EPAなどの問題に関心を高め、消費者としての発言力を高めていきます。

（3）環境問題への取り組み

- * 地球温暖化の防止と、循環型社会の実現をめざし、自覚的・主体的に行動する消費者を増やしていくための取り組みをすすめます。

（4）暮らしのセーフティーネット構築の取り組み

- * 社会保障制度のあり方や、物価問題、公共料金（電気・ガス・タクシー等）について、学習や情報発信に取り組めます。

（5）消費者団体を維持し発展させていくための論議

- * 「消費者運動ビジョン」にそって、ふりかえりを行い、新たな時代の期待に応じて維持し発展していくことのできる消費者団体の“ありたい姿”について論議をすすめます。

以上